

環境基本計画検討部会 会議録

1. 会議名 平成 26 年度 第 2 回東久留米市環境基本計画検討部会
2. 日 時 平成 26 年 11 月 25 日 (火) 午前 10 時 00 分から午前 12 時 00 分
3. 場 所 東久留米市役所 7 階 703 会議室
4. 出席委員氏名 (敬称略) 重藤さわ子 (部会長)、水戸部啓一 (副部会長)、石川勝一、田中直子、豊福正己、遠藤毅彦、林幸雄 (計 7 名)
5. 特別講師 杉原弘恭 (学校法人自由学園最高学部特任教授)、
5. 欠席委員氏名 (敬称略) なし
6. 事務局職員名 小林尚生環境部長、小島信行環境政策課長、瀬戸口恵美主査 (政策調整担当)、小平卓主査 (みどりと公園担当)、藤井華子主事 (政策調整担当)
7. コンサルタント会社 (株式会社 総合環境計画) 宮下英之、林栄津子
8. 傍聴人 なし
9. 議題
 - (1) 第 1 回環境基本計画検討部会会議録 (案) の確認について (資料 1)
 - (2) 第 1 回まとめの確認 (資料 2)
 - (3) 環境基本計画改定の前提となる現状把握について
 - ①国・東京都・東久留米市の環境基本計画,36 自治体の環境対策実施状況,環境家計簿—環境基本計画等の構成と背景— (杉原氏からの情報提供) (資料 3)
 - ②東久留米市実施のアンケート調査等の概要について (資料 4)
 - ③施策成果アンケート調査における市民意識の経年比較 (資料 5)
 - ④東久留米市環境基本計画および中間見直しへの意見整理について (資料 6)
 - ⑤第二次長期総合計画の概要と目指すべき姿について (資料 7)
 - ⑥市民活動状況について (資料 8)
 - ⑦近隣市等の計画について (資料 9)
10. 配布資料
第 1 回環境基本計画検討部会会議録 (案)資料 1

第 1 回環境基本計画検討部会のまとめ.....	資料 2
国・東京都・東久留米市の環境基本計画,36 自治体の環境対策実施状況, 環境家計簿－環境基本計画等の構成と背景－	資料 3
アンケート調査の概要.....	資料 4
施策成果アンケートにおける市民意識の経年比較.....	資料 5
東久留米市環境基本計画および中間見直しへの意見整理について	資料 6
東久留米第 4 次長期総合計画の概要と目指すべき姿について	資料 7
市民の活動状況について.....	資料 8
他市事例	資料 9

11. 平成 26 年度第 2 回環境基本計画検討部会

・環境部長のあいさつ

・出欠席者の報告 出席 7 名、欠席 0 名、定足数に達しており会議は成立

(1) 第 1 回環境基本計画検討部会会議録・第 1 回まとめの確認（議題（1）・（2）, 資料 1・2）

【事務局】資料 1 について、事前送付が出来なかったため、資料 2 で決定事項を確認頂き、それ以外の部分については部会終了後、電子データをメールで送付する。12 月 2 日までにメールでご意見を頂きたい。

【部会長】資料 2 で確認出来るもの以外は、皆様にファイルで確認いただいた後、事務局にお返事頂きたい。引き続き資料 2 の説明をお願いしたい。

【事務局】（資料 2 説明）部会長・副部会長を選出頂き、部会長には重藤委員、副部会長には委員に就任頂いた。計画策定スケジュールについて検討頂いた。この際、審議会があるのに、庁内環境会議の“審議”という用語が不適切との事で、“審議”ではなく“検討”として示す事にした。検討部会の進め方については、委員の参考資料をベースに検討をする事が決定した。策定方針案の検討については 4 点を決定した。①中間見直しをベースにその後の社会状況の変化を踏まえて策定する。②市民が手に取って分かりやすい計画とする。③調査項目については、環境政策課以外の部署も含め、市が持っているデータをリストアップし、それを基に検討する。④地球温暖化推進計画および生物多様性については、地域の目線で計画に盛り込んでいく。という事が決定した。

【部会長】決定事項の 4 点について何かご意見や漏れている事があればお願いしたい。

【杉原氏】本日の話の中にも入ってくるが、地域推進計画は以前の名称で、正式には「地域実行計画区域施策編（2008 年）」である。見直しの方も、正式名称で記載した方が良い。

【部会長】ご指摘の通り正式名称を用いる。この他にご意見をお願いしたい。

【委員】中間見直し後の社会状況の変化は、ほとんど無いのではないかな。

【委員】無ければそのまま踏襲する提案で良いのではないかな。

【部会長】“その後の”という言葉が引っかかるのではないかな。中間見直しをベースに、

その前後の社会状況の変化などを加えてという事であれば良いかと思う。

- 【委員】 文言については「その後」を消せばよい。
- 【部会長】 その後に配布頂いた、第2次環境基本計画検討部会の検討プロセスとスケジュールについて、時間に限りがある中で、ある程度プロセスを認識して会議を進めなければならない。毎月部会を開催する事になっており、今月11月は、中間見直し以降の変化点の課題検討となっている。前回会議で“東久留米市らしい環境基本計画を”という意見があったが、東京都やその他の周辺状況を踏まえながら東久留米市としてどうするかを考えるべきで、今日は皆さんで周辺情報を共有する会とする。次回に、さらに踏み込んだ形で東久留米市としてどうするか議論が12月に出来ればと考えている。1月に基本目標の整理等の骨子に向かうような議論をし、2月に骨子案の検討、3月に骨子案決定とある。ただし、3月に環境審議会があるので、かなり厳しいスケジュールになってしまうので、皆さんや事務局のご意見を頂き、整理したい。
- 【事務局】 3月の部会の予定は現時点で、お伝えしている日程が24日であり、その後環境審議会となると部会と審議会の間が1週間程度しか無い。したがって、2月中に骨子案を確定できれば有難い。
- 【部会長】 前倒しにして2月に骨子を作成したいという事であるが、特にご意見が無ければ、今年度中のプロセスについてこの形でよいか。
- 【委員】 前回配られたスケジュール表と比較して見ると、市民環境会議や庁内ヒアリングの意見を聞き、3月にまとめる事あるが、その状況はどうなっているか。
- 【事務局】 庁内ヒアリングについては、各課に当たっている。12月の部会までにまとめられればと考えている。
- 【委員】 基本的には市民環境会議や、庁内ヒアリングの予定は前回お示ししたものが前提で、前回資料では内容が書いていなかったもので、中身を示している。したがって、この資料と前回資料との関係性は変わらない。
- 【委員】 ただし、市民環境会議の全体会は1月28日で、その後4月まで全体会の開催はないので、それは厳しい。
- 【委員】 しかし、1か月前倒しというのも難しい。
- 【事務局】 その部分については、市民環境会議の皆さんとご相談させていただいて、調整させていただく。
- 【部会長】 次回には、どういう状況かお伝え頂き、具体的に今の話にご回答いただくようお願いしたい。プロセスと周辺状況のスケジュールは毎回出せるようにする事と、前回スケジュールの終わったものについて色分けをする、あるいは“済”や日付を表記するという意見が杉原氏からもあった。それも含めて、自分たちが今どこにいるのか、次に何をするのかを確認する意味で毎回出して頂きたい。
- 【事務局】 それでは、委員の資料と合わせてスケジュールを提出する。
- 【委員】 今回のスケジュールで大事な事なので中間見直し以降は、“見直しを踏まえ”

位が良いかと思う。

(2) 環境基本計画改定の前提となる現状把握について（議題(3) 資料 3)

【杉原氏】資料 3 国・東京都・東久留米市の環境基本計画,36 自治体の環境対策実施状況,環境家計簿－環境基本計画等の構成と背景－についての、情報提供

- ・環境基本計画,法律,記録の基本フレーム
- ・国の環境委本計画
- ・温対法の改正による変更
- ・都の環境基本計画
- ・市の基本計画
- ・自治体の環境施策

【委員】環境家計簿は、PDCA を回すのに使えという事であるか。

【杉原氏】ミニマムの家庭や個人のところで、環境家計簿の取組みが PDCA につながる。その際 2005 年以降の CO2 の削減だけでなく、土壌や大気などについても含めた環境家計簿にするとよいだろう。昔は取り組んでいた。

【委員】東久留米市の環境基本計画はバランスが良いという意見だったが、具体的にはどの辺が良いのか。

【杉原氏】国は法律をバックに持って項目を立てているので、対象をセグメントとして分けている。東久留米市はそちらから攻めずに対象から入り、どういう事が必要かという形でまとめている。そういう意味でバランスが良いと申し上げた。

【委員】スライド 43 ページの施策の方向の項目の立て方が、具体的に良いという事か。

【杉原氏】スライド 39・37 の施策の方向の内訳があり、構成について、生物多様性や水循環基本法などが加わって、新たな組み換えはあるかと思うが、連携性が良いと思った。

【委員】補足すると、こうした物の作り方に 2 種類あって、大気の保全などを項目別に作っていく手法と、目的手段系として、この目的のためにどういう手段があるかに分かれる。東久留米市の環境基本計画は大まかに分けると目的手段系になる。将来の環境像はこうありたい、そのためにはどういう環境を作って行こうという整理をしているので、比較的わかりやすい。

【部会長】時間がないので、一旦資料 4 に進み、市の現状を聞いた後にご意見を頂きたい。

(3) 東久留米市実施のアンケート調査等の概要について（議題(4) 資料 4)

【事務局】東久留米市実施のアンケート調査等の概要について説明（資料 4)

- ・環境に関する意識調査
- ・施策成果アンケート
- ・市民満足度調査

・その他のアンケート

【委員】データの解析について、特に一般家庭編のまとめは、世代別に回収割合のウェイトバック（重みづけ）をしていたかどうか。お年寄りの関心が50%になっているので、市民の全体の関心としてはウェイトバックをかけないと、ずれてしまうのではないかと。

【事務局】今回はそういったお話もあったが、こういった項目について、どういう状態でやろうかという所で終わった。アンケートの集計結果について、そういった補正ができるかどうか確認を行う。

【部長】それについて確認して頂き、ウェイトバックをかける必要があるかどうかは検討する。私も、女性の方が環境に関心が高いかと思っていたが、男性の方が高い結果が気になっていたの、細かく見て必要であればそうした事も確認していった方が良いかもしれない。全てを抽出するのは難しいので、まずは若い世代を見るのはどうか。

【委員】4ページを見ると、働いている世代と働いていない世代で結果がくっきり分かれている。

【部長】環境活動に関わっているかどうか、年齢が大きく関わっている。

【事務局】その補正が出来るかどうか検討して、改めてお示しする。

(4) 施策成果アンケート調査における市民意識の経年比較（議題(5) 資料5)

【コンサルタント】施策成果アンケート調査における市民意識の経年比較について説明（資料5）

- ・日頃から身近な自然とふれあう機会を持っている
- ・河川や水辺がきれいになった
- ・緑を基本とした景観が保全されていると感じている
- ・環境にやさしいと思う生活や行動を行っている
- ・環境を考えてごみの出し方のルールを守っている
- ・緑の育成保全活動への参加
- ・水辺や湧水にふれあう活動への参加
- ・地域のコミュニティ活動への参加
- ・市内農産物の購入

【委員】“環境を考えてごみの出し方のルールを守っている”についての平成20年以降の回答の大きな変化には、柳泉園でプラスチックなどを燃やしているニュースが出た事が関連しているかどうか。

【事務局】それよりも二ツ塚の最終処分場の方が大きな出来事であった。各自治体のごみの有料化が動き出してきた事はあった。

【委員】ここは私も気になった事があった。質問の仕方が変わっていたのではないかと。平成20年までは「自分は守っているか」という設問で、それ以降は「他人は守っているか」という設問に変わったと記憶している。間違っているかもしれないので、もう一度確認してほしい。

- 【委員】アンケートは設問の内容も記載してほしい。
- 【杉原氏】これも年齢階層別の無作為抽出なので、クロス集計をかけると何か分かるかもしれない。
- 【部会長】全体的に、若い層の傾向を見た方が良いでしょう。

(5) 東久留米市環境基本計画および中間見直しへの意見整理について（議題(6) 資料 6）

- 【事務局】東久留米市環境基本計画および中間見直しへの意見整理について説明（資料 6）
- 【杉原氏】一つ質問であるが、審議会ではこの資料の③に該当している市民環境会議が“水とみどり部会”と“くらし部会”でもう一つ環境基本計画策定に伴う意見書はどれに当たるか。
- 【事務局】市民環境学習部会から頂いた意見については、市民環境会議からの意見にまとめさせていただいた。
- 【委員】基本目標③のところはかなり意見を出したはずだったのだが、入っていない。
- 【事務局】後ほど原本を確認する。
- 【部会長】“これがあつたはずだ”・“これがない”といった事は、後で別途確認頂きたい。

(6) 東久留米市第 4 次長期総合計画の概要と目指すべき姿について（議題(7) 資料 7）

- 【事務局】東久留米市第 4 次長期総合計画の概要と目指すべき姿について説明（資料 7）
- 【部会長】引き続き資料 8 の説明をお願いします。

(7) 市民の活動状況について（議題(8) 資料 8）

- 【部会長】市民の活動がどれくらいか、市の担当も知っているようで知らない事もあるかもしれないという事で、調査をしていただいた。ここで市民の活動をされている方がいらっしゃるので、抜けている事があればご指摘頂きたい。また持ち帰っていただいて他の情報などお気づきの点があれば寄せて頂きたい。
- 【事務局】今日配布させていただいた『南沢水辺公園の仲間たち』の作成や“2.市と市民団体が連携して環境活動を行っている団体”、“3.市の外郭団体と市民団体が連携して活動を行っている団体”に豊福委員が関わっていらっしゃるので、お話し頂きたい。
- 【委員】この本は、公園を作る前の 3 年間市民が集まってどういった公園にしたらよいか検討し、その市民がボランティアに関わり、10 年経過したのでまとめた。小学校にも配っているので、カラー刷りにした。資料編にはこの 10 年間調査を続けてきた記録として、公園の中にどのような木が何本生えているか、またその変遷について記載している。
- 【杉原氏】公営住宅跡地に森を再生する壮大な計画となっている。
- 【委員】もともと瓦礫の土が固い所に、市内で拾ってきたドングリで苗を作り、そ

れを植えて 10 年で樹高 4.5m 程度の立派な林が育っている。

【部 会 長】ありがとうございました。今回は環境基本計画を市民に分かりやすい身近なものにするという方針がある。緑にふれているが活動に参加していない状況があれば積極的に活動するとすればどういう団体があるというのを盛り込む方向も良いかと思う。

【委 員】資料 8 について、“・” が違う団体を区切っているものと、活動を区切っているものが混じっているので、違う団体を区切っている場合は“/”等で示してほしい。

【委 員】それぞれの活動状況や困っている事を吸い上げられているのか。

【委 員】ほとんどの団体で困っているのは、高齢化と会員が増えない事だと思う。

【委 員】できれば実情が分かるようにしてほしい。

(8) 他市の事例（議題(9) 資料 9)

【コンサルタント】他市の事例について説明（資料 9）

【委 員】先ほど杉原氏が仰っていた、議決決定の事項が記載されている市は見られているか。

【コンサルタント】そこまで把握ができていない。

【杉 原 氏】東京都は日野市だけである。日野市はいろいろな意味でディープに進んでいる。対極的に示すのは参考になるかと思う。

【委 員】議決をしている市がどのレベルの事を言っているのかが気になる。

【コンサルタント】調べる事は可能である。議決で縛りが厳しくなると逆に詳しく書けない状況もあるが、どれくらい違いがあるのかを調べる。

【部 会 長】日野市を中心に調べていただくという事と、先ほどのアンケートでは、働いている世代の状況をもう少し知りたいという事があったが、もっとこういう物を提供いただいた方がよい等、何かあるか。

【委 員】おそらくボリュームがあって消化不良かと思うので、読んでいただいてコメントを事務局へメールで頂きたい。

【部 会 長】中間見直し前後の変化点と課題は、次回にはまとめていかなければならない。そこで、提案がある。杉原氏からの情報提供や、他市の周辺状況を踏まえ、各委員にご意見を、コメント程度でも結構なので、A4 サイズ 1 枚程度にとりまとめ、事前にご提出頂けるとありがたい。次回の部会は 12/24 なので、2 週間前にご連絡頂きたい。メールで議事録の確認として議事録をお送りすると合わせて、ご意見を願う形をお願いしたい。本日は、杉原氏から、東久留米市らしさを考えていくためにも前提となる、非常に貴重なお話をいただいたと思う。

【委 員】感想レベルでいいかと思う。あるいはこういう事を思いついたから準備をしてくれといった事でも良いかと思う。

【コンサルタント】そういったご要望も、いただければ対応する。

【部 会 長】杉原氏のお話から、地域らしさを意識して作っていくことは大切だが、そのなかで大きな環境改善を見落とす事がありえるという重要なメッセージをいただいたので、国と東京都と東久留米市で整理されたものを見直しつつ、重大な事が見落とされていないかを確認した方が良い。また、当初の環境基本計画には、「優先して取り組むべき施策」といった項目があった。優先して取り組むべき項目を設定してしまうと、他のは取り組まないのか、などということにもなりかねないので、優先項目を設定するかどうかを検討事項として考えた方が良いでしょう。

【委 員】中間見直しではそれを外してある。

【コンサルタント】優先施策と普通の施策があったかと思う。優先施策は残っているのか。

【委 員】優先して取り組む施策がある。

【委 員】中間見直しではそれを止めている。

【コンサルタント】重みづけはなく平等に扱う理解でよろしいか。

【部 会 長】中間見直しの時はそうなった、とのことらしい。庁内ヒアリングでの印象をお聞きすると、総合計画との連携がないと進めにくい現状もあるようでもある。実効性を求めていく場合は、そういったことも意識しておかなければならないのではないか。杉原氏がこちらの湧水は雨が水源と言われていた。ということは、農地・緑地の維持は大きな課題になる。湧水を大切にしている土地柄、今後の何年かで農地・緑地をいかに守るか、ということが重大な課題になるだろう。

【委 員】農地は非常に難しい課題をずっと引き続けている。その解決策は相続税の話になっている。しかしそれだけで本当にいいかどうか、宅地開発の際、緑を増やしてもらうなどの手立てを打っても農地は漸減している。この問題をどう捉えるかが問題である。

【部 会 長】これは次の 5 年で喫緊の課題になる可能性があるので、水と緑を重視した東久留米市として、必ず議論をしていかなければならない課題であろう。

【委 員】問題はそれだけではないが、農地がなくなる事を考えなければならない。

【委 員】都市マスタープランも配布してはどうか。“豊かな水と緑に囲まれた活力のある住み続けたいまち”というのが目標なので、水と緑は都市マスタープランの方が入っている。

【委 員】11 ページの西東京市の環境保全活動に市と市民が参画するのに、事業者はやらないのだろうか。

【コンサルタント】ページの量が多くなっているので、割愛している。インターネットで計画書が公開されているので気になった所は見て頂きたい。4 ページに書いた表については、今までの環境基本計画に掲載されていなくて、新たに載せてほしいものが書いてあるので、例えば 3R が 2R になるなどの変更があるので参考にして頂きたい。

【委 員】環境基本計画は強制力がない。各主体に環境省が協力をお願いする形にな

っている。東久留米市で本当に大事だと思えれば載せればいいが、必ずしも強制ではない。

【部 会 長】環境基本計画の文言について。例えば、中間見直しで3Rから2Rになった事にも、意味があつての事だと思うので、文言のところはその都度検討を行う。

【委 員】1つ確認であるが、庁内ヒアリングは間に合うのだろうか。

【事 務 局】それ以降のスケジュールにも影響するので、必ず間に合わせる。

(9) 閉会

【部 会 長】これで本日予定されていた全ての議題が終了した。平成26年度第2回環境基本計画検討部会を終了する。ありがとうございました。